



今年度最後の「ハッピー☆通信」になります。この1年間、いろいろな子どもたちと関わることができ、たくさんの笑顔と成長が見られました。今回の「ハッピー☆通信」は、一部ではありますが、1年間の自立活動の取組を振り返ります。

自立活動の取組をがんばりました



自分の体調を管理するために、プールで体の力を抜くことを意識して取り組みました。教師が力を抜く箇所を伝えたり、視線を上げると足が伸びやすいことを伝えたりすると、足の力をうまく抜いて、足先をプールの底に何度も着けることができました。足がプールの底に着いた時には、「あ!着いた!!!」と満面の笑顔でした。

遊具を使った授業で、体の傾きを自分で気づいて直せるようになるために、トランポリンを跳ぶ活動に取り組みました。体が傾いている時に言葉掛けをしたり、本人が自分で体制を立て直せる位置に教師が支えるための手を置くように支援したりすることで、体を起こして跳べるようになりました。



肺活量を維持するための取組をいろいろ提案して実践してみたところ、ハーモニカが大ヒット!!最初は小さい音でしたが、吹き方の示範をしたり、「スーハースーハー」と息を吸ったり吐いたりしてごらん。」と教師が言葉掛けをしたりすることで、大きな音で吹けるようになりました。また、教師と交代しながら吹くことで、楽しみながら大きく呼吸することを意識できるようになりました。この取組が文化祭の発表にも繋がりました。

次年度も、子どもたちの「どうなりたいのか。何ができるようになりたいのか。」という気持ちに耳を傾け、もっと楽しく生活したり学んだりできるように、それぞれの目標に向かって自立活動の指導・支援に取り組んでいきたいと思います。